

目 次

第1章 問題の所在、先行研究の検証、仮説、研究の目的および方法など	1
1. 問題の所在	1
2. 先行研究の検証	2
3. 仮説	3
(1) プロダクティブ・エイジングの基本	3
(2) 健康・経済・心・家族・交流プラス社会性	3
(3) 身上監護、財産管理など“終活”への関心	3
4. 研究の目的および方法	4
(1) 研究の目的	4
(2) 研究の方法	4
5. 研究の経過	5
第2章 アンケート調査	9
1. 調査の概要	9
(1) 調査の目的	9
(2) 調査対象者	9
(3) 調査項目	9
(4) 調査方法および調査期間	9
(5) 調査の回収率	9
2. 調査の結果	10
(1) 回答者の属性	10
(2) 活動に関する状況	16
(3) 生きがい・幸福感の状況	26
3. まとめ	37
第3章 インタビュー調査	43
1. グループインタビュー調査	43
(1) 調査の概要	43
(2) 調査の結果	44
(3) まとめ	47
2. 個別インタビュー調査	48
(1) 調査の概要	48
(2) 調査の結果	49
(3) まとめ	63

第4章 提言と今後の研究課題 65

1. 提言.....	65
(1) プロダクティブ・エイジング社会の実現.....	65
(2) 健康づくりと抜本的な医療制度改革.....	66
(3) ゆとりのある経済的な環境の整備.....	67
(4) 家族による自助・互助と地域住民との交流.....	68
(5) 中長期的なこの国のありよう.....	69
2. 今後の研究課題.....	70

資料編 73

1. 基本書および参考文献等.....	73
(1) 基本書.....	73
(2) 参考文献.....	73
(3) 白書.....	80
(4) 会議資料・報告書.....	80
(5) 新聞.....	81
(6) 雑誌.....	81
2. アンケート単純集計表.....	82
3. 対論～研究活動を終えて～.....	92
(1) 全体の感想.....	92
(2) 生きがいと社会的対応の概念の整理.....	93
(3) 経済と健康.....	94
(4) 教育.....	96
(5) 家族.....	97
(6) 幸福感および生きがい.....	98